

23 日本病態生理学会雑誌 投稿規定

A) 投稿原稿の募集と審査

1. 筆頭著者は日本病態生理学会会員でなければならない。
2. 原著論文、総説、講演記録の投稿を受け付ける。総説および講演記録の投稿は、編集委員会からの依頼により行う。
3. 原稿は国内外の他雑誌に掲載されていない論文、あるいは現在投稿中でない論文に限り、投稿に際しては、全著者の同意を得ておくこと。
4. 原著論文の採否は日本病態生理学会会員 2 名による査読結果に基づき編集委員長が決定する。
5. 本誌の掲載論文は一般に公開し、著作権は日本病態生理学会に帰属する。
6. 投稿料、論文掲載料は無料とする。

B) 個人情報保護と医学研究に関する指針遵守

1. 文部科学省、厚生労働省、経済産業省による令和 3 年 3 月 23 日制定（令和 4 年 3 月 10 日一部改正）の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に従い、個人情報保護、研究対象者からの同意の取得、研究倫理の遵守に努めること。
2. 研究対象者の同意書が必要とされる場合は、「同意書」を研究対象者、または配偶者、親、子、後見人などから取得し、原本を投稿者が保管する。複数の研究対象者・家族からの同意書が必要な場合は、全員から取得すること。本人が死亡している場合は遺族の同意書を得ること。取得した同意書は、日本病態生理学会からの求めに応じてコピーを提出できるよう、著者の責任において保管すること。
3. 当該研究施設における倫理委員会の承認が必要とされる研究については、倫理委員会で承認済みであることを、承認番号を付して論文に記載する。

C) COI 状態の申告

1. 投稿する著者全員の論文内容に関する企業・組織や団体との COI 状態を本文末尾に、簡潔に記載する。
2. 重大な COI 状態にあると想定される場合、日本病態生理学会理事会で検討する。

D) 投稿の形式

1. 投稿論文は原著論文、および依頼による総説ならびに講演記録に限定する（和文又は英文）。
2. 原稿は表紙/抄録/本文/引用文献/図表および図の説明からなる。
3. 図表および図の説明は、本文の適切な位置に適切なサイズで挿入する。
4. 日本病態生理学会雑誌の印刷ページで本文が 10 ページ以内になるよう、また白黒

印刷に適合するよう作成する。

E) 原稿作成要領

用紙は A4、余白は上下左右 30 mm とする。日本語の句読点は「、。」ではなく「、。」とする。

1) 構成

原著論文の場合：表紙（タイトル、責任著者氏名、所属、連絡先<メール、電話番号>を記載）は独立して作成し、本文は次の順で構成する。

- (見出し番号なし) 日本語表記のタイトル (英語論文の場合は省略)
- (見出し番号なし) 日本語表記の著者名 (英語論文の場合は省略)
- (見出し番号なし) 日本語表記の所属 (英語論文の場合は省略)
- (見出し番号なし) 日本語表記の責任著者連絡先 (英語論文の場合は省略)
- (見出し番号なし) 英語表記のタイトル
- (見出し番号なし) 英語表記の著者名
- (見出し番号なし) 英語表記の所属
- (見出し番号なし) 英語表記の責任著者連絡先
- (見出し番号なし) 抄録（和文または英文） 400 字以内（英文抄録は 250 語以内）
- (見出し番号なし) キーワード 5 個以内 日本語・英語の併記（英語論文の場合、日本語は省略）
 - 1. はじめに
 - 2. 材料と方法（対象と方法など、研究内容に沿った変更は可）
 - 3. 結果（図、表を説明文とともに挿入する）
 - 4. 考察
 - 5. まとめ（省略可）
- (見出し番号なし) 謝辞（省略可）
- (見出し番号なし) COI 開示
- (見出し番号なし) 参考文献

総説および講演記録の場合：表紙（タイトル、責任著者氏名、所属、連絡先<メール、電話番号>を記載）は独立して作成し、本文は次の順で構成する。

- (見出し番号なし) 日本語表記のタイトル (英語論文の場合は省略)
- (見出し番号なし) 日本語表記の著者名 (英語論文の場合は省略)
- (見出し番号なし) 日本語表記の所属 (英語論文の場合は省略)
- (見出し番号なし) 日本語表記の責任著者連絡先 (英語論文の場合は省略)
- (見出し番号なし) 英語表記のタイトル
- (見出し番号なし) 英語表記の著者名
- (見出し番号なし) 英語表記の所属

(見出し番号なし) 英語表記の責任著者連絡先
(見出し番号なし) 抄録（和文または英文） 400 字以内（英文抄録は 250 語以内）
(見出し番号なし) キーワード 5 個以内 日本語・英語の併記（英語論文の場合、日本語は省略）

1. はじめに
 2. 本文を適宜、項立てする。必要に応じて見出し番号は、順次ずらして増やす。
- X.まとめ（省略可）
(見出し番号なし) 謝辞（省略可）
(見出し番号なし) COI 開示
(見出し番号なし) 参考文献

数字は全て半角とする。本要領に基づき作成した原稿は表紙を除き 10 ページ以内に収まること。最終的な体裁は編集委員会で調整する。

- 2) 表紙：タイトル、責任著者氏名、所属、連絡先<メール、電話番号>を 1 段組みで記載。
- 3) 表紙の次ページにタイトル、氏名、所属、責任著者連絡先、抄録、キーワードを 1 段組みで以下の要領で記載。タイトル（Title）以外の行間は固定値、16 ポイント。
 - ・日本語表記のタイトル（英語論文の場合は省略）：MS ゴシックの太字、行間は 1 行、サイズ 16。中央揃え。
 - ・日本語表記の氏名（英語論文の場合は省略）：タイトルとの間を 2 行空ける。MS ゴシックサイズ 10。右端揃え。複数の所属がある場合は MS 明朝、サイズ 12 で番号を上付で記載。
 - ・日本語表記の所属（英語論文の場合は省略）：MS 明朝、サイズ 10。右端揃え。複数の所属がある場合は、MS 明朝、サイズ 10 で番号を上付で記載。
 - ・日本語表記の責任著者連絡先（英語論文の場合は省略）：括弧内に日本語表記は MS 明朝、英語表記は Times New Roman、サイズ 10。右端揃え。
 - ・英語表記のタイトル：日本語論文の場合、日本語表記の責任著者連絡先との間を 2 行空ける。Times New Roman の太字、行間は 1 行、サイズ 16。中央揃え。
 - ・英語表記の氏名：タイトルとの間を 2 行空ける。Times New Roman、サイズ 10。右端揃え。複数の所属がある場合は Times New Roman、サイズ 12 で番号を上付で記載。
 - ・英語表記の所属：Times New Roman、サイズ 10。右端揃え。複数の所属がある場合は Times New Roman、サイズ 10 で番号を上付で記載。
 - ・英語表記の責任著者連絡先：括弧内に Times New Roman、サイズ 10。右端揃え。
 - ・抄録：400 字以内で、MS 明朝（英文は Times New Roman）、サイズ 10 で行間は固定値、16 ポイント。左端揃え。
 - ・キーワード：5 個以内で、抄録との間を 1 行空け、日本語は MS ゴシックの太字、英語は

Times New Roman の太字、サイズ 10。左端揃え。

4) 1. はじめに 以下の本文は 2 段組み、日本語論文の本文は MS 明朝、サイズ 10 で、行間は固定値 16 ポイントで記載。英語論文の本文は Times New Roman サイズ 10 で、行間は固定値 16 ポイント（ただし、図、表などの説明文の行間は、日本語表記、英語表記とともに固定値 14 ポイント）で記載。

- ・2 段組の設定は、段の幅 19.23 文字 段の間隔 2.02 文字とする。
- ・各項目に小見出しを付ける場合は 1.1、1.2、…、2.1、2.2 … とする。
- ・日本語論文の見出し、小見出しへ MS ゴシックの太字、サイズ 10。それ以外は MS 明朝、サイズ 10 で記載。英語論文の見出し、小見出しへ Times New Roman の太字、サイズ 10。それ以外は Times New Roman、サイズ 10 で記載。
- ・見出しの前後は 1 行空ける。小見出しの前は 1 行空ける。
- ・引用文献は日本語論文の場合、本文での引用順に 1)、2) … とし、MS 明朝、サイズ 10、上付きで記載。英語論文の場合、本文での引用順に 1)、2) … とし、Times New Roman、サイズ 10、上付きで記載。

5) 図、表、写真是、白黒で作成し、図 1、表 1、写真 1 のように一連番号を付するとともに、題および説明文（表の場合は省略可）を付け、説明文の行間は固定値 14 ポイントとする。ファイル形式は JPEG (jpg, jpe, jpeg) または PDF (.pdf) とし、本文の適切な位置に希望のサイズで挿入する。図中の文字のサイズは原則として 10 ポイント以上になるよう設定する。

6) 参考文献

参考文献は、本文での引用順で一括して記載。日本語は MS 明朝、サイズ 10 で、英語の場合は Times New Roman 半角、サイズ 10 で記載。記述形式は、雑誌の場合、著者（全員表記）、表題、雑誌名、巻数、ページ、発表年の順とし、単行本の場合、著者、書名、発行所、発行地、ページを入れる場合はページ、発行年 の順とする。英語で表記する英文の雑誌名・書籍名はイタリック体にて表記。雑誌名の略称は PubMed に従い、略称の後にピリオドを付ける。書籍の一部を分担執筆している場合は、該当の論文のタイトルを通常フォントで表記し、収録雑誌名または収録書籍名をイタリック体で、収録書籍名のあとに編者を括弧書きで記載する。著者名は、Family Name (先頭のみ大文字) と First Name のイニシャル (大文字) で表記。著者と著者の間はカンマを付ける。最後の著者と最後から二番目の著者の間の and は不要。最後の著者の後ろにピリオドを付ける。発表年の後ろにはピリオドを付ける。

参考文献（例）

- 1) Higashi S, Kabuta T, Nagai Y, Tsuchiya Y, Akiyama H, Wada K. TDP-43 associates with stalled ribosomes and contributes to cell survival during cellular stress. *J. Neurochem.* 126, 288-300, 2013.
- 2) Wada E, Wada K. Bio-communication between mother and offspring. *Reproductive and*

Developmental Toxicology (Ed. R.C. Gupta), Academic Press, USA, pp.33-38, 2011.

F) 投稿の方法

論文原稿は、事務局宛の電子メールの添付文書または電子媒体の郵送により投稿する。

G) 査読、採択から掲載

1. 査読は、編集委員長が指名した 2 名の学会員が行う。
2. 査読は原則として 2 週間以内に終了し、改訂の要否、掲載可否は編集委員長の判断に基づき行う。
3. 改訂作業は、原則として 3 ヶ月以内の終了を求める。
4. 投稿原稿の掲載決定日が、2 月末日までの場合は当該年の日本病態生理学会会誌 1 号（5 月発行）に、10 月末日までの場合は 3 号（12 月発行）に原則として掲載される。

附則

1. この投稿規定は、平成 31 年 4 月から実施する。
2. 令和 4 年 10 月に一部改正した。